

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年4月13日～2017年4月19日)

平成 29 年(2017 年)4 月 21 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p><b>政治</b></p> <p>与党「法と正義」(PiS), 前政権のスキャンダルに関するリストを発表                  ワルシャワ検察, トウスク欧州理事会議長を聴取                  ワルシャワ・ゲットー蜂起勃発74周年記念式典の開催                  NATO前方地域プレゼンス強化大隊歓迎式典, 開催                  スロバキア軍部隊, ラトビアへ移動                  HSW社, 装備品受注に注力                  ロシア軍, 西部軍管区に多連装ロケットを配備                  トルコの国民投票に関する外務省声明                  ポーランド・ハンガリー国会議長による戦略的パートナーシップ合意への署名                  国境警備隊, ウクライナとの国境で武器を押収                  国防次官, 国防戦略発表を延期                  ヴァシチコフスキ外相, ティラソン米國務長官と会談                  ドゥダ大統領, 無人飛行機部隊を視察                  在米駐在武官にヴィシニェフスキ准将を派遣</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！                  問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p><b>経済</b></p> <p>電気自動車スタンドの設置                  3月の平均賃金上昇率                  IMFが経済成長率を上方修正                  官民協力パートナーシップに向けて民間事業者が求めるもの                  LNG基地拡張を検討</p>								
<p><b>大使館からのお知らせ</b></p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意                  パスポートダウンロード申請書のご案内                  大使館広報文化センター開館時間                  文化行事・大使館関連行事</p>								
<p><b>読者からのお知らせ</b></p> <p>「日本で生まれたクラシック音楽を知っていますか?」VOL. 2 響の出会い: 日本とヨーロッパ</p>								
<p>ポーランド日本国大使館                  ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000<a href="http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm">http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</a></p>								

## 政 治

## 内 政

与党「法と正義」(PiS)、前政権のスキャンダルに関するリストを発表【14日】

14日、与党「法と正義」(PiS)は、2007年～15年までの市民プラットフォーム(PO)及び農民党(PSL)による前政権の115のスキャンダルを列挙するリストを発表した。同リストには、盗聴事件、アンバー・ゴールド問題(注:架空の金販売による詐欺事件であり、当時の政府の金融関連法等の不整備、トウスク首相(当時)の子息の同問題への関与疑惑等あり)等が含まれている。

ワルシャワ検察、トウスク欧州理事会議長を聴取【19日】

19日、トウスク欧州理事会議長(元首相)は、ワルシャワ検察にて、2010年スモレンスク政府専用機墜落事故後のポーランド軍防諜局(SKW)とロシア

連邦保安庁(FSB)との協力に関する調整におけるSKWの権限外の行動に関する捜査に関連し、9時間以上の聴取を受けた。トウスク議長は、今次聴取は政治的な動きであると述べると同時に、現在のポーランド国内情勢への批判的な見方を示した。なお、同議長が同日午前ワルシャワ駅に電車で到着した際に、同議長を支持するグループと批判的なグループの双方が駅周辺に集まり、一時現場が騒然となった。

ワルシャワ・ゲッター蜂起74周年記念式典の開催【19日】

19日、1943年のワルシャワ・ゲッター蜂起74周年記念式典がワルシャワ市内のゲッター英雄記念碑前にて開催され、シドゥウォ首相及び閣僚等が出席した。

## 外交・安全保障

NATO前方地域プレゼンス強化大隊歓迎式典、開催【13日】

13日、ドゥダ大統領、マチェレヴィチ国防大臣は、NATO前方地域プレゼンス強化(eFP)大隊の歓迎式典をポーランド北東部オジェシュにおいて、米国大使、英国大使、ルーマニア大使、NATO軍最高司令官スカパロッチ大将等の参加を得て開催した。

同大統領は、待ち望んでいたNATO部隊のポーランド展開を心から歓迎すると同時に、ポーランドも、ルーマニア、ラトビアに兵士を派遣し、地域の安定に貢献すると述べ、国防大臣は、米国兵、英国兵、ルーマニア兵に加えクロアチア兵士も加わることはNATOの連帯の証であり、右兵士ができる限り長くポーランドに展開することを強く願うと述べた。またジョーンズ駐ポーランド米国大使は、ポーランドの兵士受入れとその支援に感謝すると述べた。

スロバキア軍部隊、ラトビアへ移動【13日】

13日、スロバキア軍の約150名で構成される1個中隊は、ラトビア軍との共同訓練等を行うため、3ヶ月間の予定でラトビアへ移動した。

HSW社、装備品受注に注力【17日】

13日、チホチキ・スタロヴァボラ製鉄会社(HSW)社長は、自走155ミリ榴弾砲等60億ズロチの受注を獲得しており、更に装甲歩兵戦闘車等の受注、輸出契約等により年末までに300億ズロチの契約を獲得したいと述べた。

ロシア軍、西部軍管区に多連装ロケットを配備【17日】

17日、ロシア軍は、西部軍管区の砲兵旅団に300ミリ多連装ロケット(BM-30)を7個セット配備した。同ロケットは、約70kmの射程を有し、軽装甲、対人、対車両等の目標に対し、広範囲を制圧できる。

トルコの国民投票に関する外務省声明【18日】

18日、外務省は16日に実施されたトルコにおける国民投票に関し、その結果を承知すると共に公式発表を待っている。トルコはポーランドにとってNATO及びより幅広い安全保障構造における戦略的パートナーであり、伝統的に良好な二国間関係及びEUとの関係が引き続き発展することを期待する旨の声明を発表した。

ポーランド・ハンガリー国会議長による戦略的パートナーシップ合意への署名【18日】

18日、クフチンスキ下院議長及びカルチェフスキ上院議長は、ワルシャワを訪問中のクヴェール・ハンガリー国会議長と会談し、ポーランド・ハンガリー両国の戦略的パートナーシップ合意に署名した。本合意は、両国が欧州の危機の解決に向けて共同で取り組み、二国間協力の強化を通じてV4協力、中欧地域及びEU全体の強化を目指すことを目的としている。

国境警備隊、ウクライナとの国境で武器を押収【18日】

18日、ポーランド国境警備隊は、4月上旬頃、ウクライナ国境に近いポーランド南東部のゾシノにおいて、各2丁の小銃及び拳銃を密輸容疑で押収したと発表した。

ロシアによるEU国境の防護能力の検証の可能性もある。

**国防次官、国防戦略発表を延期【18日】**

18日、シャトコフスキ国防次官は、国防戦略の発表を3月に予定していたが、更に1ヶ月延期すると述べた。その理由は、戦争の可能性を排除したような過去の「教義上の」国防戦略ではなく、実際的な見積に基づいた戦略を作成するため、シミュレーション分析等に時間を要すると説明した。

また、マチェレヴィチ国防大臣は、大規模紛争の脅威を適切に想定していないとして過去の国防戦略を批判している。

**ヴァシチコフスキ外相、ティラソン米務長官と会談【19日】**

19日、ワシントンを訪問中のヴァシチコフスキ外相は、ティラソン米務長官との間で、トランプ政権発足後初の外相会談を行い、米国のポーランド国民に対する査証免除措置未導入の問題を含む二国間関

係、NATOを始めとする安全保障分野における協力の展望、エネルギー安全保障及びイノベーションを含む経済関係等につき意見交換した。両外相は、ハイレベル対話の維持の必要性につき認識を共有し、またポーランド側は、スモレンスク政府専用機墜落事故の原因究明及び機体返還問題における米国の支援を要請した。ヴァシチコフスキ外相は、本年中にヒューストンに総領事館を開設することを発表し、来年にはシアトルにも総領事館を開設したいと考えを示した。

**ドゥダ大統領、無人飛行機部隊を視察【19日】**

19日、ドゥダ大統領は、北西部のミロスワヴィエツに駐屯する第12無人飛行機部隊を視察した。

**在米駐在武官にヴィシニェフスキ准将を派遣【19日】**

19日、国防省は、在米駐在武官にヴィシニェフスキ准将を任命し、派遣した。同准将は、ポーランド軍として初めてF-16の飛行時間が1000時間を超えた前空軍検査官である。

在米駐在武官は、昨年1月から不在で、ドゥダ大統領から国防大臣宛の照会書簡の中に含まれており、問題視されていた。

経 済

経済政策

**電気自動車スタンドの設置【13日】**

マウオポルスカ県のピルフ知事は、エネルギー会社PGEとの間で電気自動車充電スタンドの設置

に関する覚書に署名。クラクフを中心に、今年末までに20から30の充電スタンドが県内に設けられる予定とのこと。

マクロ経済動向・統計

**3月の平均賃金上昇率【19日】**

中央統計局(GUS)によれば、ポーランド企業部門の3月の平均賃金は約4,578ズロチで対前年同月比5.2%増。対前月比では6.3%増となっている。

国際通貨基金(IMF)は、世界経済見通しの中で、ポーランドの2017年の経済成長率見通しを以前の3.3%から3.4%に上方修正したが、2018年については3.3%から3.2%に下方修正した。物価上昇率については、2017年を2.3%、2018年を1.9%としている。

**IMFが経済成長率を上方修正【19日】**

ポーランド産業動向

**官民協力パートナーシップに向けて民間事業者が求めるもの【18日】**

ポーランドへのEU基金配分の停止が到来した後の投資のツールとして、官民協力パートナーシップ(PPP)が注目されていることに関し、Puls Biznesu 紙は、数十億ズロチ規模となるPPPプロジェクトを容易にするため民間事業者が付加価値税

に関する法律改正を期待していると報じている。現在民間事業者はプロジェクト開始時点でのVAT納付を求められるが、実際には長期間の設備等の運用を通じ投資コストを回収するため、事業者の負担を増加させていることから、VATの徴収についてもこうした実情を反映するべきとの声が出ている。

## エネルギー・環境

**LNG基地拡張を検討【19日】**

Gaz-System社は、シフィノウィシチェのLNG基地を拡張に向けた検討を開始した。50%程度の能

力拡張を想定している。拡張に併せ、船舶や輸送等の関連インフラの追加・増強工事も検討される。

## 大使館からのお知らせ

**長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意**

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

**パスポートダウンロード申請書のご案内**

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

**【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間**

月曜日9:00-19:00 火曜～金曜日9:00-17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584-73 00，Eメール：[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp)、住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

## 文化行事・大使館関連行事

**【開催中】日本の浮世絵展「女：美・カ・忘我」【2月14日(火)～5月3日(火)】**

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催中です。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示されています。

開催場所：クラクフ国立博物館, Al. 3 Maja 1

詳細：<http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

**【開催中】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日(土)～5月7日(日)】**

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィツ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催中です。

開催場所：ワルシャワ国立博物館, Aleje Jerozolimskie 3

詳細：<http://www.mnw.art.pl/>

**【開催中】ポフシン植物園における日本月間【4月6日(木)～5月7日(金)】**

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター主催による「ポフシン植物園における日本月間」が開催中です。入場料：10PLN。

プログラム：

4月6日～5月3日： ルドミワ・コツ氏及びロムアルド・ザビエルスキ氏による日本の写真展

4月1日～5月7日： スタニスワフ・ロシュコフスキ氏による写真展「桜と日本」

5月6日～7日： 観賞用日本鶏の展示会

開催場所：ワルシャワ市（マゾフシェ県）、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター、ul. Prawdziwka 2

詳細：<http://www.ogrod-powsin.pl/dzialalnosc-kulturalna/plan-wystaw-i-wydarzen-kulturalnych-2017>

### **〔開催中〕全ポーランド美術コンクール展【4月20日(木)～5月10日(水)】**

ティヒ市にて、ティヒ市第2青少年文化会館主催による全ポーランド美術コンクール展「マンガファクトリー」が開催中です。

開催場所：シロンスク県、ティヒ市、ul. Elfów 56

詳細：<http://www.mdk2tychy.pl/>

### **〔予定〕第11回ウッチ大学日本文化デー【4月22日(土)～23日(日)】**

ウッチ市にて、八雲琴クラブ協会主催による『第11回ウッチ大学日本文化デー』が開催されます。日本についての講義、武道デモンストレーション、ワークショップなどが予定されています。

開催場所：ウッチ県、ウッチ市、ul. Rewolucji 1905 r. 39/41

詳細：<http://yakumo-goto.pl/index.html>

### **〔予定〕金継ぎ展【4月24日(月)～5月8日(月)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、金継ぎで修復された器の展示が開催されます。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

### **〔予定〕ザブジェ市日本デー【4月26日(水)】**

ザブジェ市にて、ザブジェ市第14中・高等学校主催による『日本デー』が開催されます。様々なワークショップ（書道、折り紙、切り紙、碁、漫画展）や日本知識クイズなどが予定されています。

開催場所：ドルノシロンスキエ県、ザブジェ市、ul. Korczoka 98

詳細：<http://www.zso14.eu/?id=5>

### **〔予定〕学会「東と西の間で：文化・哲学・芸術・スポーツの一面としての伝統武道」及び空手大会【4月28日(金)～30日(日)】**

グダンスク市にて、ポーランド伝統空手連盟グダンスク支部主催による学会「東と西の間で：文化・哲学・芸術・スポーツの一面としての伝統武道」及び伝統空手リーグ大会、日本に関する講義などが予定されています。

開催場所：ポモージェ県、グダンスク市、スポーツ大学メインホール、ul. Kazimierza Górskiego 1

詳細：

<http://www.karate.pomorze.pl/aktualnosci/ogolnopolska-konferencja-naukowa-miedzy-wschodem-i-zachodem/>

### **〔予定〕日本フェスティバル 花見2017【5月7日(日) 10時～17時】**

ワルシャワ市にて、「ラクガク」日本語学校主催による『日本フェスティバル 花見2017』が開催されます。

お花見のほか、武道デモンストレーション、伝統音楽、日本舞踊、様々なワークショップ、コンクール等が予定されています。

開催場所：マゾフシェ県、ワルシャワ市、「イスクラ」スポーツクラブ公園、ul. Wawelska 5

詳細：<http://www.rakugaku.pl/hanami2017.html>

**【予定】「日本で生まれたクラシック音楽を知っていますか？」VOL. 2 響の出会い：日本とヨーロッパ【4月23日（日）19時～】（入場無料）**

ショパン音楽大学 ul. okólnik 2 Warszawa, メルツェラホールにて、日本をテーマにした演奏会がショパン音楽大学で開催されます。

プログラム等は以下のとおり。

箕作秋吉 (1895-1971) さくらさくら (チェロとピアノのための) (1958)

尾崎宗吉 (1915-1945) 夜の歌 (チェロ・ピアノ) (1943)

チェロとピアノのためのソナタ (1937)

山田耕筰 (1886-1965) この道 (1927) (作詞 北原白秋)

P. Perkowski (1901-1990) 和歌(百人一首より)(1924)

心あてに 折らばや折らむ 初霜の おきまどはせる 白菊の花  
うかりける 人を初瀬の 山おろしよ はげしかれとは 祈らぬものを  
有馬山 猪名の笹原 風吹けば いでそよ人を 忘れやはする  
めぐり逢ひて 見しやそれとも わかぬ間に 雲がくれにし 夜半の月かな  
な 八重葎 しげれる宿の さびしきに 人こそ見えね 秋は来にけり

前田卓央 (1916-1981) チェロとピアノのための6つの小品 (1946)

F. Schubert (1797 - 1828) 幻想曲 f-moll op. 103 D.940 (1828) 四手連弾

演奏者:

Andrzej Wróbel wiolonczela

Aleksandra Resztik sopran

Yuka Hattori fortepian

Misato Tokuda fortepian

司会 (ポーランド語)

Koharu Piskorska

入場無料

<http://www.chopin.edu.pl/pl/?m=20170423&cat=5> (ポーランド語サイト)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 [news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)